

かわら版

鳥取日赤

前立腺肥大症の

最先端治療

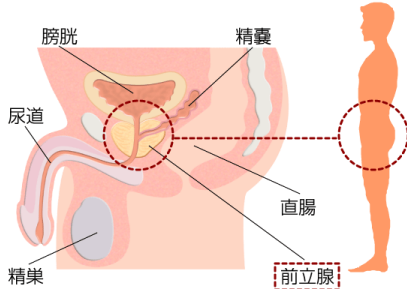
(HOLEP手術)の紹介

泌尿器科副部長

小野 孝司

HOLEP手術とは、前立腺肥大症に行われる手術です。

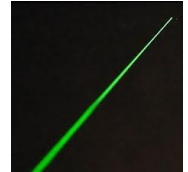
前立腺肥大症は、尿道に近い部分が肥大する病気で、50歳以上でこの病気になる人やよくなります。症状としては尿の回数が増えたり、尿が出にくくなる。または漏らしてしまふなどです。ひどくなると尿が出なくなったり細菌感染や腎機能障害を起こしたりします。



最初のうちは薬による治療で対処しますが、症状が進行すると手術による治療が選択されます。手術にはこれまで内視鏡と電気メスを使って肥大した前立腺を少しずつ削る方法

か、開腹手術が一般的でした。

HOLEP手術（経尿道的ホルミウムレーザー前立腺核出術）も内視鏡で行われる手術です



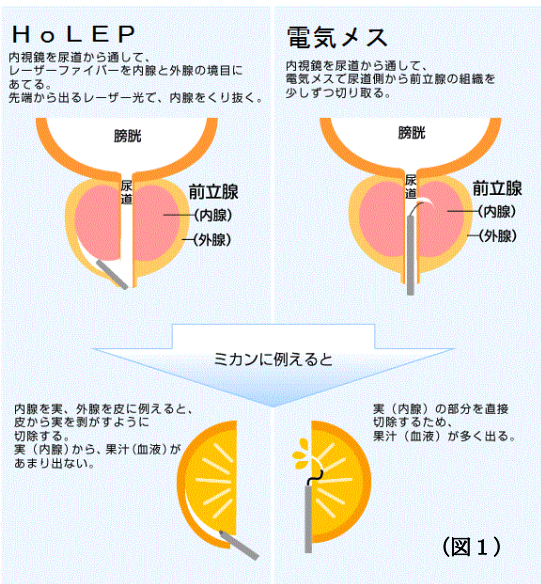
が、電気メスではなくレーザー光を利用します。電気メスで前立腺を削るのではなく、レーザー光で血管の少ない境目をはがすような手術（図1）となります。このレーザー光は水への吸収率が高いため、尿道や膀胱内が水で満たされていけば他の臓器にほとんど影響を与えずに手術ができます。はがされた前立腺は膀胱内で細切れにされて吸引器で取り出されます。

電気メスの場合、削った組織を特殊な灌流液で洗い流していましたが、この灌流液が体内に吸収されることで「低Na血症（軽度の虚脱感や疲労感が起こったり、頭痛や食欲不振になったりします。）」という合併症の心配がありました。HOLEP手術の場合は体液と同等の生理食塩水を使用するので「低Na血症」はほとんど起こりません。

HOLEP手術は従来の手術より痛みが大幅に少なくなり、入院期間も短くなります。結果、入院費用

も安くなります。また、根こそぎはがすので再発の可能性はほとんどありません。

平成24年度始め時点で、全国でもまだ200施設ほどしか導入されておらず、今後主流となる手術ですが、当院では昨年導入し運用を始めました。詳しくは当科に受診の際お尋ねください。



(図1)

採血機器の更新にともない受付方法が変わりました。

中央採血室

2月より中央採血室の機器が新しくなり、**受付方法が変わりました**。
中央採血室入口に新たに採血受付機が設置されました。受診で採血・採尿の指示があった患者さんや、採血・採尿の予約がある患者さんは、最初に診察券を**採血受付機**に挿入して下さい。診察券が出てきますのでそれを取り、しばらくすると**整理券**がでてきます。それもお取りいただきしばらくお待ち下さい。



採血受付機の上にあるテレビ画面に呼び出し**番号が表示**されますので、ご自分の整理券と同じ番号が表示されましたら採血室にお入り下さい。採血台の上部にも番号が表示されていますので整理券と同じ番号の所にお座り下さい。

採血受付機は**8時から**稼働しますが受付には診察券が必要となります。診察券をお忘れになった場合8時30分に中央採血室のシャッターが開きますので、その旨を中のスタッフにお申し出下さい。

ご理解とご協力をお願いいたします。



カードを入れて



整理券を取って



整理券と同じ番号が表示されたら・・・



同じ番号の所にお座り下さい。

新病棟建築工事にともない 病院裏の通路が通行止めになります。

建設推進室

3月1日より、新病棟建築工事のため病院裏の通路は通れなくなります。(図の赤線部分)それにともない駐輪場(図の点線部分)へ自転車を止める事ができなくなります。自転車は正面玄関横の駐輪場へお止め下さい。病院裏の出入口はこれまでどおり開いておりますがセキュリティの関係上、土日祝日は閉めております。正面玄関へお回りください。

ご不便をおかけいたしますが、なにとぞご理解とご協力をおねがいいたします。



鳥取赤十字病院の理念と基本方針

理念

私たちは、赤十字の人道・博愛の心をもって医療を行ないます。

基本方針

1. 患者様の権利を尊重し、十分な説明と合意に基づいた医療を行ないます。
2. 地域の皆様に愛され、信頼される病院を目指し、地域医療を支援します。
3. 常に教育・研修を推進し、自己研鑽に励み、医療の質の向上に努めます。